

2011年10月期 決算説明資料

2011年12月15日(木) 株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる 情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

目次



◆ 2011年度 決算の概況

P03~10

◆ 2012年度 業績見通し

P11~18



2011年度 決算の概況

業績のポイント



<外部環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は一眼レフ・交換レンズ中心に好調
- ◆ レアアース原料は高止まりの後、期後半に緩和
- ◆ HD市場は需要の伸び率が鈍化し、緩やかな成長
- ◆ 半導体、液晶露光装置市場は上期好調から下期減速

<当社業績>

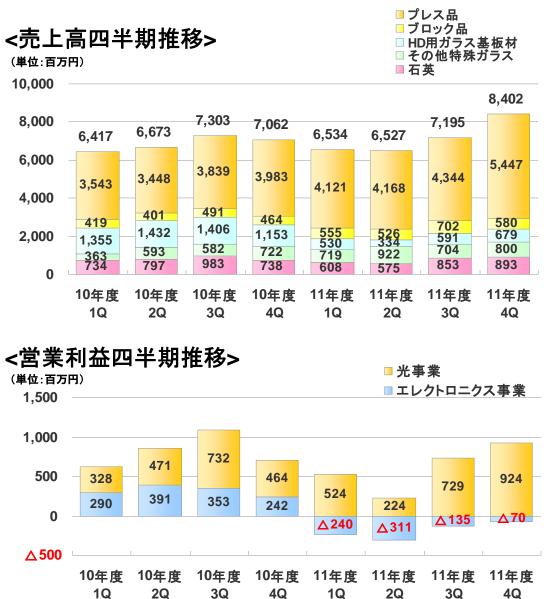
- ◆ 光学ガラス売上は、交換レンズ向け中心に好調維持、 損益は原料高騰で悪化も、期後半より一部価格転嫁
- ◆ HD用ガラス基板材は、稼働率低下により損益大幅悪化
- ◆ 特殊ガラスは、露光装置向けが下期減速も総じて好調

業績サマリー



(単位:百万円、%)

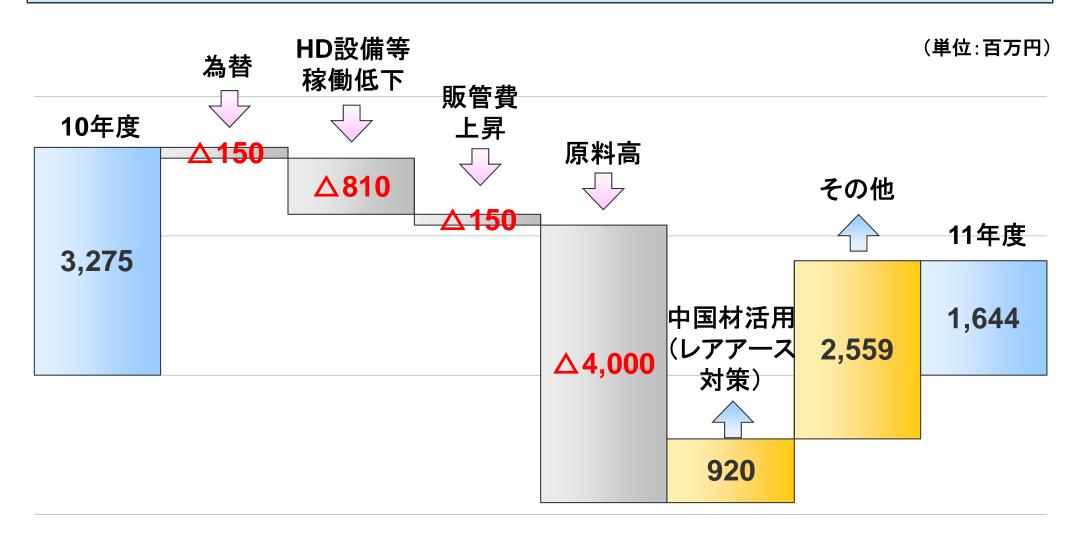
	10年度	11年度	増減
売上高	27,456	28,659	1,203
			4.4%
売上総利益	8,675	7,197	△1,477
[売上総利益率]	31.6%	25.1%	△17.0%
営業利益	3,275	1,644	△1,630
[営業利益率]	11.9%	5.7%	△49.8%
経常利益	3,105	1,624	△1,480
[経常利益率]	11.3%	5.7%	△47.7%
純利益	1,963	866	△1,097
[純利益率]	7.2%	3.0%	△55.9%
為替レート 円/1USD 円/1EUR	88.88 119.82	81.25 114.42	



損益增減要因①



営業損益 1,644百万円 (前期比△49.8%)



損益增減要因②



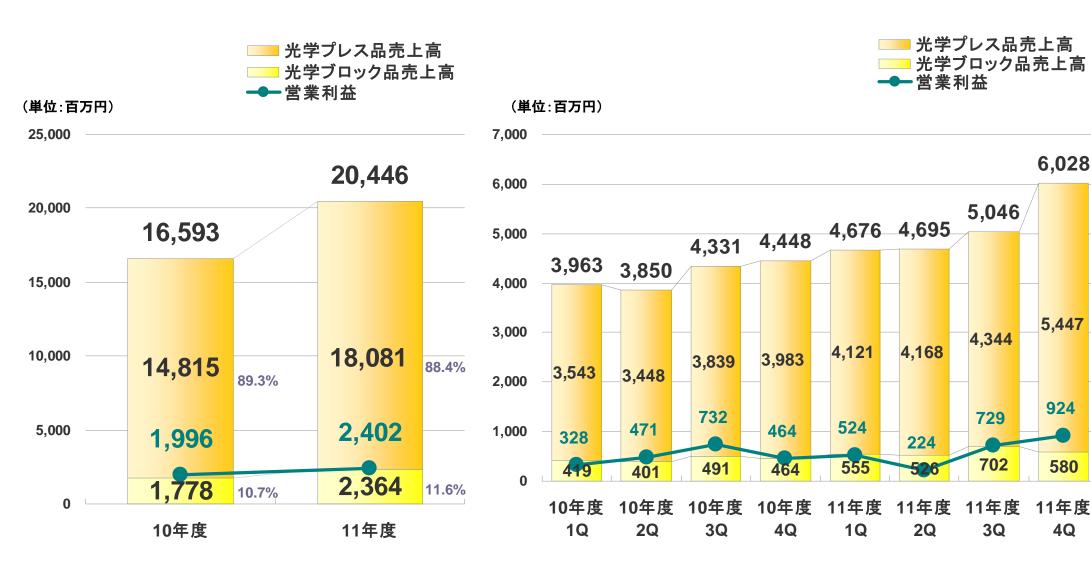
→<営業外損益>	△20百万円	前期比	149百万円
増減の比較			
→ 金融収支			25百万円
→ 為替差損益			77百万円
→ その他(業務受害	託料増加など)		45百万円
<特別損益>	144百万円		
内訳			
退職給付制度改	定益		551百万円
災害による損失(震災の影響)			△46百万円
投資有価証券評	F 価損		△191百万円
その他			△168百万円

光事業



<通期対比>

<四半期推移>

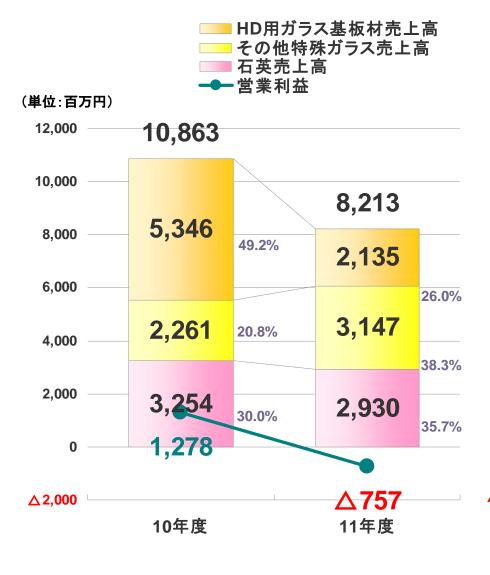


エレクトロニクス事業

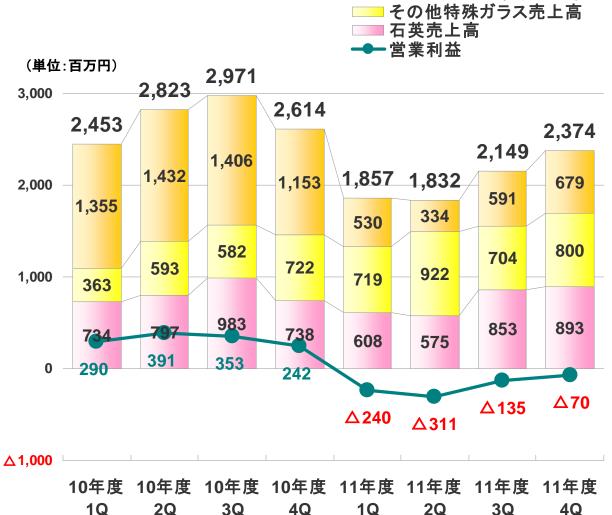


■HD用ガラス基板材売上高

<通期対比>



<四半期推移>



キャッシュ・フロー



(単位:百万円)







営業CF増減主要因 (前期は4,307)			
税金等調整前純利益	1,769		
減価償却費	2,036		
売上債権の増減額 _(△は増加)	△428		
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,764		
法人税等の支払額	△875		
投資CF増減主要因(前期]は△ 2,417)		
有形固定資産の取得	Δ1,762		
投資有価証券の取得	△625		
財務CF増減主要因(前期]は △1,036)		
借入金の増加	1,636		

配当金支払額

△486



2012年度 業績見通し

見通しサマリー



(単位:百万円、%)

	11年度実績	12年度予想	増減
売上高	28,659	32,600	3,941
			13.7%
売上総利益	7,197	8,100	903
[売上総利益率]	25.1%	24.8%	12.5%
営業利益	1,644	2,100	456
[営業利益率]	5.7%	6.4%	27.7%
経常利益	1,624	2,100	476
[経常利益率]	5.7%	6.4%	29.3%
純利益	866	1,100	234
[純利益率]	3.0%	3.4%	27.0%
為替レート			
円/1USD	81.25	77.00	
円/1EUR	114.42	105.00	
通期配当(円)	20.00	20.00	

【ご参考】上期見通し

(単位:百万円、%)

	11年度実績	12年度予想	増減
売上高	13,061	14,200	1,139
元上同 			8.7%
売上総利益	2,895	3,300	405
[売上総利益率]	22.2%	23.2%	14.0%
営業利益	196	400	204
[営業利益率]	1.5%	2.8%	104.1%
経常利益	317	400	83
[経常利益率]	2.4%	2.8%	26.2%
純利益	202	200	Δ2
[純利益率]	1.6%	1.4%	△1.0%

光事業見通しのポイント



<外部環境>

- ◆ 一眼レフ市場は、年明けに調整の可能性も、 その後回復し、前年比約10%の成長を予想
- ◆ レアアース原料の価格は沈静化傾向だが、 規制強化により先行き不透明

<当社状況>

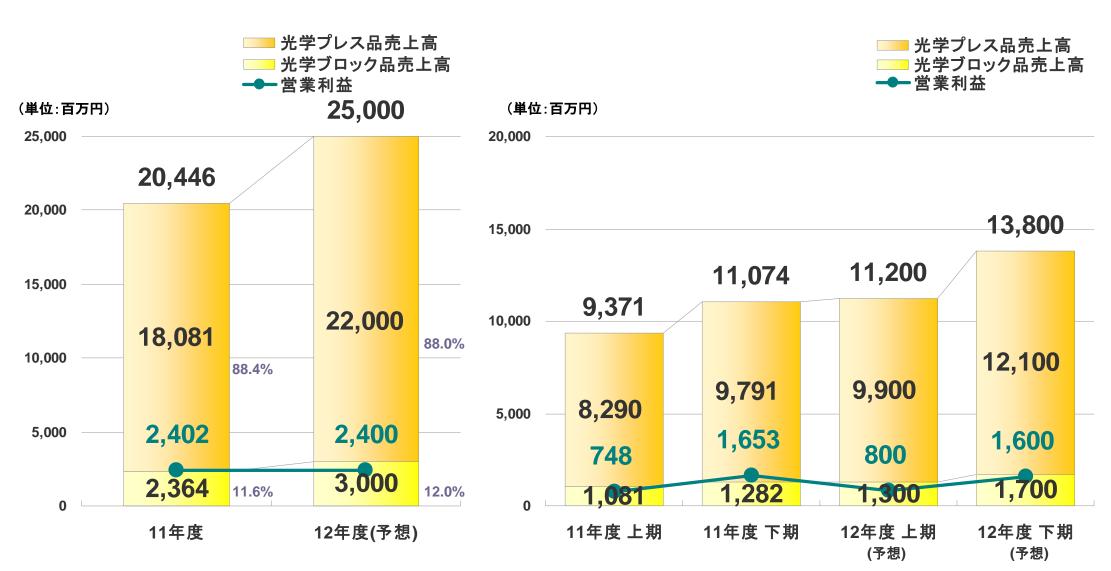
- ◆ 光学ガラス需要は旺盛。既存設備の安定稼働と 合弁会社の追加設備投資で増産体制
- ◆ レアアース原料は、たな卸資産の圧縮に 努めながら、安定調達を目指す

光事業見通し





<半期推移>



エレクトロニクス事業見通しのポイント WHAKA



<外部環境>

- HD市場は、上期はタイ洪水影響により停滞も、 通期では5%超の成長見込
- 半導体/液晶露光装置市場は当面調整基調、 回復は期後半となる見込

<当社状況>

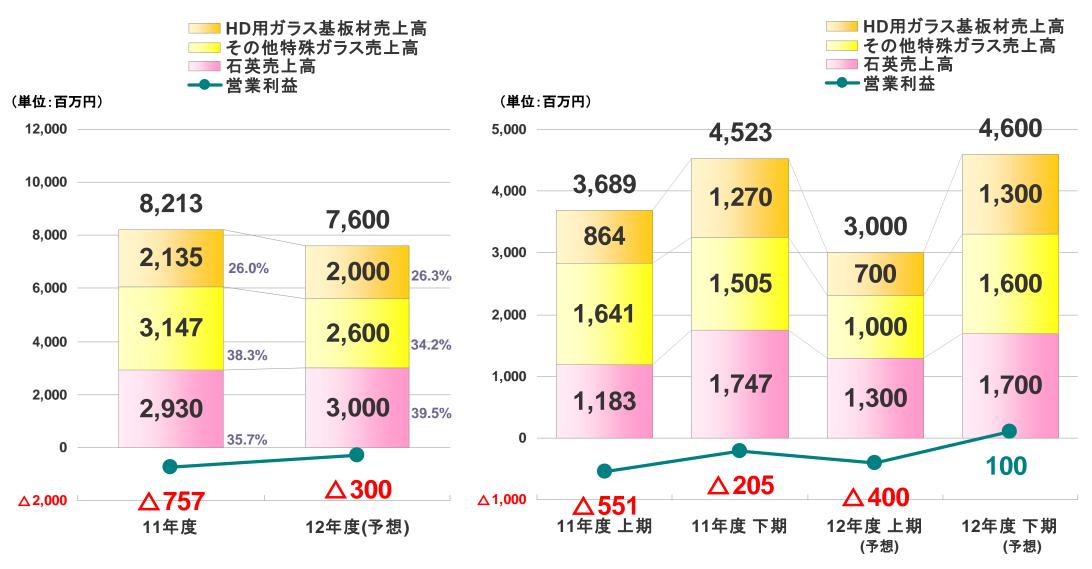
- HD用ガラス基板材は、期後半に向け回復傾向
- 特殊ガラスは用途別需要に応じた拡販体制
- 石英は新規用途への販売強化

エレクトロニクス事業見通し



<通期対比>

<半期推移>

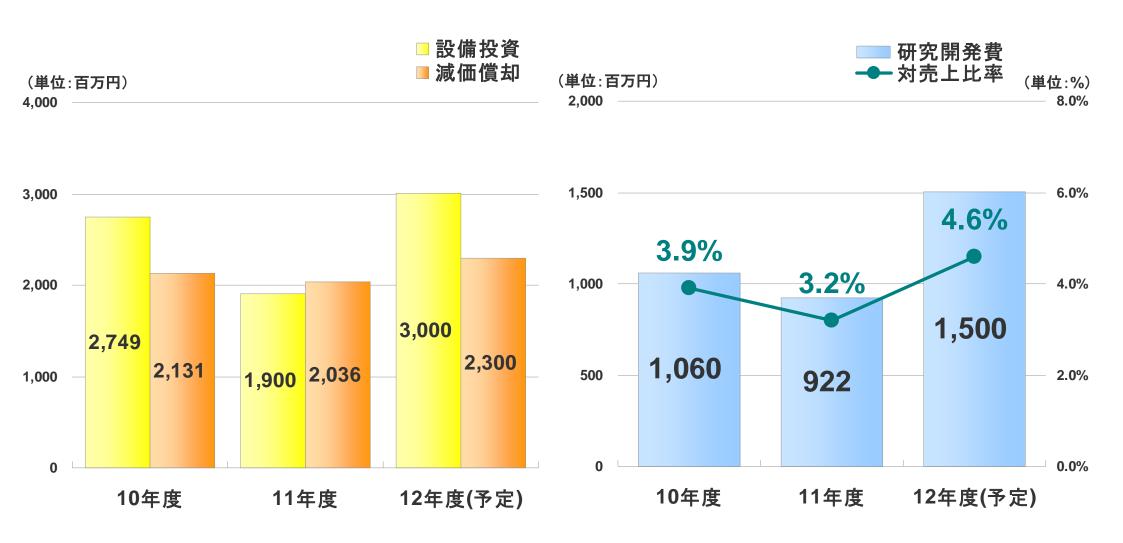


設備、減価償却、研究開発費見通し



設備、減価償却

研究開発費



トピックス



台湾に光学ガラス生産新会社

「台湾小原光学材料股份有限公司」設立を決定

<企業概要>

(1)所在地 台湾雲林県虎尾鎮

(中部サイエンスパーク・虎尾パーク内、面積32,989㎡)

(2)代表者 関戸 仁(当社専務取締役)

(3)事業内容 光学ガラスの生産

(4)資本金 400百万台湾ドル(約10億円)

(5)設立 2012年2月(予定)

(6) 操業開始時期 2013年2月(予定)

(7)出資比率 当社100%

